

友よ!



東京・石中会だより

第12号

石巻
復興支援
特集号
PART IV

発行 東京・石中会広報委員会 事務局 / 〒154-0024 世田谷区三軒茶屋2-56-7-906
相澤 貞止方 TEL & FAX/03-3412-9759 事務局メールアドレス t-seki-chukai-tk@jcom.home.ne.jp
平成28年6月1日

石巻市 まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定!!
(平成27年度～平成31年度:5か年計画)

特集—2060年人口10万人維持に向け、「新しい石巻」の創造—

ごあいさつ



拝啓 新緑の候 ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

東日本大震災以降、東京石中会の皆様から力強い御支援と御声援を頂いていることに心より感謝申し上げます。

さて、震災から5年が経過し、国が位置付ける「復興・創生期間」の初年度として、復旧・復興事業を最優先に「復興まちづくり」を進めて参りたいと考えております。

思い起こせば、昨年は仙石線全線開通、水産卸売市場の完成、そして復興公営住宅も約2,400戸の供給がされるなど、「再生」に向けてさらに一步を踏み出し、「復興」を確かなものとした年でありました。

本年度は、9月に市民の健康を支える新石巻市立病院が開院、また、10月には中心市街地の再生の核となる生鮮マーケットを中心とした、かわまち交流拠点整備の着工、12月には石巻赤十字病院敷地内に夜間急患センターが開設される予定であり、市民生活に欠かせない施設が次々に着手並びに完成する予定でございます。

一方で、最大の被災地である本市にとっては、人口減少等の課題がいち早く生じ、昨年実施しました国勢調査の速報値によれば、人口が14万8千人を割り込み、震災前の平成22年と比べますと、約1万3千人の減少となりました。

昨年12月に策定した「石巻市まち・ひと・しごと創生総合戦略」では、この人口減少等の諸課題を解決するため、近々の課題である東日本大震災からの復旧復興事業を最優先で進めるとともに、人材の育成や新たな産業の創出、安心して暮らせる地域づくりと交流人口増加を契機とした人口流入の促進、若い世代の就労・結婚・妊娠・出産の希望を実現し、安心して子育てができる環境を整えることを視点とした4つの基本目標の下、庁内外の英知を結集し、オール石巻で一丸となって進め、2060年における人口10万人を維持することとしております。

人口流出や少子高齢化など、依然として厳しい状況に置かれておりますが、新たな街づくりを推進するとともに、快適で住みやすく、市民の夢や希望を実現する「新しい石巻」の創造を目指してまいりますので、今後とも、本市への御支援、御鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

末筆ではありますが、貴会のますますの御発展と会員の皆様の御健勝をお祈り申し上げ、御挨拶といたします。

敬具

平成28年5月

石巻市長 亀山 紘

まち・ひと・しごと創生総合戦略（2015改訂版）全体像

1. 地方創生をめぐる現状認識 <直近の状況を踏まえ記述>

- ◎人口減少の現状 ⇒ 人口の減少幅は年々拡大。平成26年の合計特殊出生率1.42となり、9年ぶり低下。年間出生数も過去最低の100万3,539人。
- ◎東京一極集中の傾向 ⇒ 東京圏へ約11万人の転入増加（前年比約1万3千人増）、東京一極集中傾向が加速化。
- ◎地域経済の現状 ⇒ 有効求人倍率や賃金、就業者数など雇用面で改善も、消費の回復が大都市圏で先行するなど地域間でばらつき。地方を中心に人手不足が顕在化。

2. 人口減少と地域経済縮小の克服

- ①「東京一極集中」の是正、②若い世代の就労・結婚・子育ての希望を実現、③地域の特性に即して地域課題を解決の基本的視点から課題に対して一体的に取り組む。

3. まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立

4. 「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定と改訂

「戦略策定」から「事業推進」の段階へ/一億総活躍社会の実現とTPPを踏まえた対応/「総合戦略」改訂と広報周知

政策の企画・実行に当たっての基本方針

1. 従来の政策の検証
「縦割り」「全国一律」「バラマキ」「表面的」「短期的」課題について、対処が必要。
2. 創生に向けた政策5原則
自立性、将来性、地域性、直接性、結果重視の政策原則に基づく。
3. 国と地方の取組体制とPDCA整備
データに基づく総合戦略、各連携（産官学金労言、政策間、地域間）の推進

今後の政策の方向

1. 政策の基本目標
 - ◎4つの「基本目標」
 - 【基本目標①】
地方における安定した雇用を創出する
 - 【基本目標②】
地方への新しいひとの流れをつくる
 - 【基本目標③】
若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - 【基本目標④】
時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する
- ◎「地方創生の深化」を目指す
・ローカル・アベノミクスの実現
・「稼ぐ力」「地域の総合力」「民の知見」を引き出す
- ◎新たな「枠組み」「担い手」「圏域」づくり
- ◎「地方創生版・三本の矢」

地方創生の深化に向けた施策の推進（政策パッケージ）

1. 地方に仕事をつくり、安心して働けるようにする
(ア)生産性の高い、活力に溢れた地域経済実現に向けた総合的取組
 - ・地域の技の国際化（ローカルイノベーション）、地域の魅力のブランド化（ローカルブランディング）、地域のしごとの高度化（ローカルサービスの生産性向上）
 - ・地域企業の経営体制の改善・人材確保等、地域全体のマネジメント力の向上
 - ・ICT等の利活用による地域の活性化、地域の総力を挙げた地域経済好循環拡大に向けた取組、総合的な支援体制の改善
- (イ)観光業を強化する地域における連携体制の構築**
- (ウ)農林水産業の成長産業化**
- (エ)地方への人材還流、地方での人材育成、地方の雇用対策
2. 地方への新しいひとの流れをつくる
(ア)政府関係機関の地方移転
- (イ)企業の地方拠点強化、企業等における地方採用・就労の拡大**
- (ウ)地方移住の推進
- (エ)地方大学等の活性化
3. 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
(ア)少子化対策における「地域アプローチ」の推進
- (イ)若い世代の経済的安定
- (ウ)出産・子育て支援
- (エ)地域の実情に即した「働き方改革」の推進（仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現等
4. 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを守るとともに、地域と地域を連携する
(ア)まちづくり・地域連携
 - ・まちづくりにおける地域連携の推進
 - ・都市のコンパクト化と周辺等の交通ネットワーク形成に当たっての政策間連携の推進
 - ・ひとの流れと活気を生み出す地域空間の形成
 - ・まちづくりにおける官民連携の推進
 - ・人口減少を踏まえた既存ストックのマネジメント強化
- (イ)「小さな拠点」の形成（集落生活圏の維持）**
- (ウ)東京圏をはじめとした大都市圏の医療・介護問題・少子化問題への対応
- (エ)住民が地域防災の担い手となる環境の確保
- (オ)ふるさとづくりの推進

情報支援の矢

- ◎地域経済分析システム（RESAS）開発、日本版DMOへの情報支援
- ◎RESASの普及促進

人的支援の矢

- ◎地方創生リーダーの育成・普及
- ◎地方創生コンシェルジュ
- ◎地方創生人材支援制度

財政支援の矢

- ◎地方創生の深化のための交付金
- ◎地方創生関連補助金等の見直し
- ◎地方財政措置
- ◎税制

「地方創生版 三本の矢」

国家戦略特区制度、社会保障制度改革、地方分権、規制改革等との連携

石巻はわーアッププロジェクト

石巻まち・ひと・しごと創生総合戦略

計画期間：平成27年度～平成31年度（5年間）



まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本的考え方

東日本大震災からの復興まちづくりの推進と、被災者・高齢者・若者を支える地域づくりの推進

- 本市は、少子高齢化に加えて東日本大震災による人口流出にも直面し、復旧・復興事業等の完了後には事業に従事する人の転出等による、更なる人口減少も懸念される「課題先進都市」といえます。
- 一方で、「震災からの復興まちづくり」による新たな地域づくりが可能であり、ボランティア活動を通じた交流等による新たな「絆」も生まれていることから、これらを活用しながら課題を克服していく飛躍可能性も潜在しています。

これらのことから、産業の活性化を図りながら、人口減少を阻止・克服し、市民の安全・安心な暮らしを実現するため、以下の4つの基本的視点から、国、県、他市町村や市民とともに危機感と問題意識を共有し、これらの課題に連携して取り組んでいきます。

4つの基本的視点

1. 東日本大震災からの復旧・復興事業の着実な推進
2. 農林水産業における担い手育成及び高付加価値化の推進と、創業支援による新たな事業の発掘
3. 被災者・高齢者も安心して暮らせる地域づくりの推進と、交流人口の増加を契機とした人口流入の促進
4. 若い世代の就労・結婚・妊娠・出産の希望を実現し、安心して子育てができる環境を整備

復興事業の加速化と、まち・ひと・しごとの創生による相乗効果の実現及び好循環の確立と総合戦略

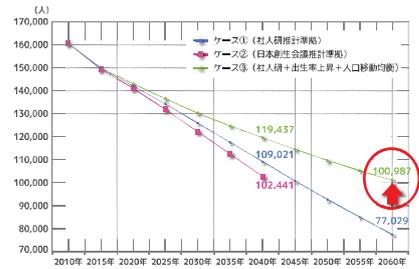
本市においては、震災からの復旧・復興事業を早急かつ着実に実施することで、一刻も早く被災した市民の日常生活を取り戻すことを最優先するとともに、「しごと」の創出と「ひと」の呼び込みを生み出し、活力ある「まち」づくりを進めていくことが必要です。

また、将来に向かって更なる飛躍を果たすことが不可欠であるため、本市の実態把握・課題等の分析・各施策の効果検証と見直しを行う体制を早急に構築します。体制構築に当たっては、庁内外の英知を結集し、オール石巻で一丸となって進めていきます。

人口ビジョン

将来人口の推計

石巻市における人口の推移は石記のとおり推計されており、現状のまま対策を講じない場合（ケース①、②）は、2060年には7万7千人程度まで減少することが予想されています。



これを今回の総合戦略に掲げる取り組みを講じることで、2060年には10万人程度まで引き上げることを目標としています。

目指すべき将来の方向と石巻市の将来展望

2060年における石巻市の状況等を以下のとおり展望し、目指すべき将来の方向に従って総合戦略を策定するとともに、各施策の検証・評価に基づくPDCAサイクルを適切に実施していきます。

目指すべき将来の方向

1. 市民の希望をかなえることによる出生率低迷の打開
2. 人口減少・高齢化を前提とした支えあい体制の構築
3. 特色を活かした産業の振興と雇用の創出
4. 東松島市・女川町との連携強化による施策の相乗効果
5. 首都圏との交流強化による人口流入増加



2060年の石巻の将来展望

復興まちづくりの進展により、かつての賑わいや新たな交流が実現し、交流人口は2015年比1.5倍となる	地域経済を支える産業が再生することでこれらを支える人材が育成され、さらなる高度化や新産業の創出を生み出す好循環を実現	多くの若者が結婚・妊娠・出産の希望をかなえられるようになり、人口は10万人を維持
--	--	--

お問い合わせ先

石巻市復興政策部復興政策課

〒986-8501 宮城県石巻市殿町1-4番1号

0225-95-1111 (内線4215)

URL <http://www.city.ishinomaki.lg.jp>

石巻はわーアップ：4つの基本目標

Power 1 復興はわー

東日本大震災からの復興まちづくりを早急かつ着実に進める

東日本大震災では全住家の3/4以上の家屋が被災するという大規模な被害を受け、今、ゼロからのまちづくりを進めているところです。このため、本市の地方創生にはまず被災者の居住環境の整備をはじめとする復旧・復興事業を着実に推進していきます。

<<具体的な施策>>

- 居住環境の整備 ———— 被災者の居住環境の整備
- 中心市街地及びその周辺の賑わいの再生 ———— 観光交流施設、プロムナード、公園、防災マリナー等の整備/中心市街地活性化施策の推進
- 半島部等における拠点整備 ———— 半島部の拠点整備/拠点地区と各集落とのネットワーク化
- 災害に強いまちづくり ———— 災害に強いインフラの整備
- 官民の既存リソースの有効活用 ———— 空き家対策等、公共インフラ等の戦略的な維持管理・更新等の推進

【主な具体的事業（抜粋）】

- ◎防災避難移転促進事業/◎土地区画整理事業/◎復興公営住宅整備事業/◎かみまち交流拠点整備事業/◎防災マリナー整備事業/◎石ノ森美術館運営事業/◎石巻駅前広場整備事業/◎市立病院整備事業/◎雄勝・北上・社蔵中心部地区拠点エリア整備事業/◎被災地低平地整備事業/◎社蔵地区市民バス運行事業/◎津波防災拠点整備事業/◎避難タワー整備事業/◎空き家活用・移住促進事業/◎公園施設長寿命化対策支援事業

Power 2 仕事はわー

人材を育成し安定した雇用を創出する

震災により、市外に流出した人口を取り戻し、大都市圏への人口流出を阻止するためには、本市において「しごと」を生み出し「質の良い雇用」を創出することが必要となります。このため、ニーズが高まることと懸念される医療・福祉分野や担い手不足が深刻化している農林水産業における人材育成を進めるとともに、農林水産業の高度化、6次産業化、観光振興、創業支援、先進的技術を活用した新産業の創出等により雇用の創出を図り、若い世代が安心して働くことのできる環境を整備していきます。

<<具体的な施策>>

- 若い世代の雇用促進 ———— 医療・介護分野における人材の誘致・育成
- 働きやすい環境の整備 ———— 雇用・就業環境の整備
- 地域産業の競争力強化 ———— 創業・新産業育成支援/農林水産業の高付加価値化/観光産業の振興
- ICTの活用 ———— ICT活用による地域経済の活性化

【主な具体的事業（抜粋）】

- ◎中小企業勤労者総合福祉事業/◎創業支援事業/◎商協団体支援事業/◎地域の宝探し実習事業/◎全県和牛産肉力推進大会出品午助成事業/◎6次産業化・地産地消推進事業/◎農林水産物輸出拡大支援事業/◎マンガ/バス活用推進事業/◎石巻的学術旅行のススメ事業/◎(仮称)石巻DMO推進事業/◎ワールドカップラグビーキャンプ誘致事業/◎国際拠点港湾「石巻港」復興活性化プロジェクト事業/◎オープンデータ活用推進事業/◎被災地テレワーク推進事業/◎古民家オフィス事業

Power 3 絆はわー

絆と協働の共鳴社会をつくる

これまで進めてきた地域包括ケアシステムの取組を全市域に展開し、被災者や高齢者が安心して暮らせる体制を構築する必要があります。また、震災以降、本市を訪れるボランティア等の方々との結び付き「絆」を大切にするとともに、地域、企業、大学、NPOなどが力を結集し、新たなまちづくりに向かって「共鳴」しながら、豊かで支えあう地域社会の構築を進めていきます。

<<具体的な施策>>

- 被災者支援と次世代型地域包括ケアの展開 ———— 被災者支援/地域包括ケアの推進/高齢者が活躍する環境の整備/文化・芸術・スポーツ活動の振興
- 地方移住・地元定着の推進 ———— ボランティア等の受入基盤の整備/お試し居住・二地域居住・教員旅行等の促進
- 大学の活性化 ———— 石巻専修大学と連携した人材育成/市内高校生への地元定着推進
- 市外避難者の帰郷支援及び本市関係者との交流促進 ———— 市外避難者の帰郷支援/本市関係者との交流推進
- 地域連携による経済・生活圏の形成 ———— 定住自立圏の形成の促進

【主な具体的事業（抜粋）】

- ◎地域づくりコーディネーター事業/◎応急仮設住宅被災者自立生活支援事業/◎包括ケアセンター事業/◎高齢者就業支援事業/◎博覧会施設文化ホール機能施設整備事業/◎移住対策事業/◎地域おこし協力隊事業/◎石巻専修大学地域連携拠点事業/◎高校高等学校の能力ある学校づくり事業/◎市外避難者帰郷支援事業

Power 4 子育てはわー

若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる

本市の合計特殊出生率は、近年、全国平均を下回る水準で推移していることから、少子化対策は早急に取り組むべき課題となっており、子どもを持ちたい若い世代の結婚・妊娠・出産・子育てを支援する取り組みを進めていきます。

<<具体的な施策>>

- 若い世代の経済的安定 ———— 女性の就業支援強化/夫婦共働きを前提とした就業環境の整備や子育て支援の推進
- 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援 ———— 結婚・妊娠・出産・子育てに係る若い世代への支援
- 子育て支援の充実 ———— 「子ども・子育て支援新制度」の円滑かつ持続的な実施等
- 学校教育の充実 ———— 未来を生きる力の醸成/教育相談体制の整備

【主な具体的事業（抜粋）】

- ◎男女共同参画推進事業/◎親になるための教育事業/◎子育て/保育事業/◎子ども医療費助成事業/◎地域子ども・子育て支援拠点事業/◎助産師による産前産後「心」からのトータルケア推進事業/◎私立認可保育園助成員/◎妊娠支援事業/◎子どもの未来づくり事業/◎国際理解教育推進事業/◎サイエンスラボ事業/◎スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー配置事業



平成27年度 教育講演会開催される！

基調講演テーマ「オペラって何？オペラ歌手ってどんな人？」

オペラ歌手 渡邊 公威 氏（42回生）

平成27年度教育講演会は11月18日（水）石巻中学校で開催されました。今回の基調講演はテノール歌手で首都圏を中心に海外での活動でも活躍をしている渡邊公威さんでした。渡邊さんは石巻高校を卒業後、国立音楽大学大学院を修了されたあとローマにも留学されており各種の賞を受賞されました。現在は首都圏を中心にして国内外でコンサート、等と活躍されております。最近では石巻でチャリティーコンサート、等の活動も活発にされております。

講演では「生い立ち」（幼少から音楽に親しみを感じながらも石中時代が音楽の原点にあること。そして高校時代にオペラを目指したこと。等）、「オペラって何？」（オペラの基本要素の説明、舞台や舞台裏の様子を実際のオペラを通じての説明。）、「オペラ歌手ってどんな人？」（声の鍛錬はもちろん、その前提としての身体造りの為のトレーニングが欠かせずアスリートの側面もある。またオペラだけでなく様々なコンサート出演は大事な仕事。）、「自分がオペラ、音楽を続けるにあたって心がけていること」（好きであるのみならず、言われたことだけをやるのではなく大真面目に遊ぶ。）について話され、最後にはカンツォーネを披露し生徒たちは熱心に聴き入っておりました。

基調講演の終了後には各教室で分科会が開催され、様々な分野で活躍をされているOBたち10名の講師の方々から職業のあり方ややりがいについて講演があり生徒たちは関心のあるテーマに参加して活発な交流がありました。

記事 加藤 友成（18回生）

各分科会 講師と講演内容

分科会 番号	講師名 (勤務先・役職)	講演内容 (職業)
1	平塚 加奈 (有)メインステージひらつか歌謡役(ひらつか美容室)	理・美容業
2	山田 廣康 (株)ノースジャパンツアーズ副社長	旅行代理業
3	樋渡 恵久子 みやぎ訪問看護ステーション代表	訪問看護関係
4	熊倉 一徳 (本校OB) 東北プランニング(株)代表取締役	広告代理業
5	三浦 ひかる フラワーセラピスト「田園の詩」代表	花によって人を癒し、自分自身も輝くそれが「フラワーセラピー」です。
6	三國 裕子 市民劇団「夢まき座」主宰	劇団運営(地域に根ざした、大人が夢を語り、石巻と子どもたちに夢をふりまく劇団です)
7	柳橋 哲也 (株)エーシンコンサルツ石巻焼きそばアカデミー代表	飲食業 石巻の歴史ある焼きそばを伝承する活動紹介
8	伊藤 正悦 宏和機工(株)専務取締役	大型プラントのメンテナンス、機械・装置の開発・設計・製作など
9	阿部 司 割烹「滝川」代表	飲食業
10	木村 美保子 (本校OB) (株)ゼン・インターナショナル代表取締役	飲食事業・業務委託(付・フードコートなど)



講師の皆様お疲れ様でした



講演会の様子



この中から将来オペラ歌手を目指す人がいるかもしれません！

石巻中学校情報(1)

ごあいさつ

石巻中学校 校長 渡部 洋



皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。
東京石中会からは、日頃より様々なご支援をいただいておりますことに心から感謝申し上げます。

昨年度の教育講演会では、本校卒業42回生であるテノール歌手の渡邊公威さんにお越しいただき、音楽との出会いやオペラの魅力などについて、歌を交えながらお話しいただき大変感動いたしました。ありがとうございました。これからも、生徒たちが本物にふれる貴重な機会として継続して

いきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。
学校では、3月に仮設校舎が撤去されて校庭も元の広さに戻りました。いま生徒たちは伸び伸びと部活動に励んでいます。

今年度は、開校70年目という大きな節目の年となります。勉強はもちろん、学校行事や中総体等に取り組む中で輝ける足跡を残そうと、生徒も職員も心一つにして頑張ることを目標としています。同窓会の皆様方からの激励は、生徒たちにとって大きな励みとなっています。ぜひ、今年度も惜しめない声援をどうぞよろしくお願いいたします。

—平成27年度(2015年度)石巻中学校トピックスニュース—

1 工夫と充実が見られた学校行事

①大運動会 テーマ「完全燃SHOW～陸の覇者 魅せる我等の勇姿～」

校庭に建設され昨年度使用した仮設校舎を、今年度は隣の門中生(門脇中学校校舎耐震工事のため)が使用したことで、昨年度同様に狭くなった校庭でいつもよりもさらに熱い大運動会が開催されました。

(8/30)



②合唱コンクール・群鷗祭 テーマ「群鷗彩～祭りはオキザリにしてきた～」

合唱コンクールは、学年ごとにクラスで歌声を競うもので、より良い合唱にするため毎日練習を重ねました。どのクラスにも金賞を与えたいくらい素晴らしい合唱でした。



石巻中学校情報(2)

群鷗祭の今年のテーマは、「昨年までの群鷗祭は、置き去りにして、全く新しいものを自分たちの手で彩る」という意味を込めたものでした。このテーマのもと実行委員会が中心となって、工夫を凝らした学年のステージ発表や、多彩な映像を駆使した実行委員会企画など、これまでにないくらい多彩で華やかな行事となりました。さらに、PTA合唱のサプライズ参加もあり、今までにない盛り上がりを見せました。(10/24)



2 陸上競技部が東北大会出場

県中学校総合体育大会陸上競技(7/19~21)で、3年生の小松明歩さんが3年女子100mで2位、女子400mリレー〔三浦玖明・佐藤夢叶・小松明歩・佐藤舞彩〕で2位、見事東北大会(8/8)に出場しました。



3年女子100m



女子400mリレー



東北大会女子400mリレー

3 地域の行事への積極的参加

毎年開かれている「石巻川開き祭り」(8/1)に、吹奏楽部と3学年の『石中SAITARA』が参加しました。今年から新調したそろいの法被と鉢巻きでかっこよく決めた3年生が大活躍しました。



また、祭りの次の日の朝には、毎年恒例の「祭りの後の清掃ボランティア活動」を行いました。



石巻中学校同窓会(1)

2016年4月23日(土)石巻グランドホテルに於いて「石巻中学校同窓生の集い」が開催されました。上は70代から下は20代まで幅広い同窓生が集まり昔話に花を咲かせてました。アトラクションとして東京からオペラ歌手の渡邊公威さん(42回生)に来ていただき素敵な歌声を披露していただきました。次回は2017年4月22日(土)開催です。

浅野 剛(36回生)



群鷗会 浅野 亨会長



石巻中学校 渡部 洋 校長



渡邊公威さん



また来年も会いましょう



木村民男 元石巻中学校 校長



石巻中学校 板橋教頭



群鷗会 佐藤禎久副会長



久しぶりの再会!

石巻の未来へ向かって!

電話0225(22)2971

市役所通り

栗野蒲鉾店

水産庁長官賞に輝く名品

電話0225(22)1030

恵み野一三十八

井上海産物店

海産物のお土産なら

電話0225(22)1842

アイトピア(大町)通り

そば処もりや

老舗の美味しいおそば

電話0225(22)0727

イトピア(大町)通り

株式会社 京屋

きものと帯

電話0225(22)1258

グランドホテル並び

寶来寿司

味が宝、のれんも宝の老舗

美味しい!を笑顔でお届けします。

- *野菜のサブウェイ
- *お肉のペッパーランチ
- *クレープのディッパードン
- *ホテルレストラン事業

株式会社ゼンインターナショナル

石巻市西山町3-1 電話0225-94-6792

代表取締役 木村美保子

石巻中学校同窓会(2)



東京石中会へのごあいさつ

東京石中会の集いのご案内ありがとうございます。

皆さんの活動に刺激され、地元の鷗たちも群を大きくしております。

3.11から5年過ぎ、復興の音が聞こえ、姿が見えてきました。

新しい石巻の創生に向かって、大事なターニングポイントの一年になると思っております。人口減少・高齢化の大きな波の中で、石巻という街の存在感を維持し高めていかなければなりません。

街づくりは人づくりです。若者が元気で明るく豊かに活動できる石巻になる事が基本になります。石巻の中心校である石巻中学校の絆を強く・広くしていければ、復興するニュー石巻の実現に大きな力となると信じております。

東京石中会の活動は石巻を揺り動かします。

これからもお互い協力して行きましょう。

群鷗会

会長 浅野 亨

優しさと豊かさの創造

宮城ヤンマー株式会社

代表取締役社長 浅野 亨

〈本社・工場〉 宮城県石巻市松並一丁目14番5号

TEL (0225)93-2121(代)

〈 拠 点 〉 仙台支店・盛岡営業所・不動町工場

《取扱商品》

- ディーゼルエンジン
- 常用・非常用発電装置
- 海水浄化装置
- コージェネレーションシステム
- FRP船
- ヤンマー純正部品
- 土木資材 等の販売 及び 修理・メンテナンス

URL: <http://www.miyagiyanmar.co.jp>

気軽にご相談ください。

弁護士 鈴木 雅芳
(26回生)

多田総合法律事務所

〒105-0001

東京都港区虎ノ門2-8-1 虎ノ門電気ビル3階

TEL: (03)3597-8855 FAX: (03)3597-8856

E-mail: suzuki@ts-law.jp

早期復興をお祈りしております

弁護士 相澤 貞止 (18回生)

岡部・山口法律事務所

〒104-0033

東京都中央区新川1-5-17 エイハ新川5階

TEL: (03)3555-7931 FAX: (03)3555-7934

E-mail: a-teishi@olo.gr.jp

石巻の未来へ向かって！

天とげつ
上野 杜月
03-3839-4420

地域の未来を確信させる
若生工業株式会社
代表取締役 若生 保彦
— ISO9001・14001 認証登録 —
石巻市清水町二丁目3番3号
TEL: 0225-94-1111 FAX: 0225-22-2592
<http://www.wako-inc.co.jp>

都市ガス(天然ガス)・プロパンガス

石巻ガス株式会社

石巻市中央2-7-38

電話 0225(96)3007

東京石中会・会員募集！！

申込みは下記アドレスへ

<http://tokyosekichukai.com/>
sekichuukaiboshuu/

石巻の未来へ向かって！

電話 0225(95)0352	東北プランニング株式会社 広告代理 製作 IT関連	電話 0225(22)0138	八幡家 松川横丁	電話 0225(93)5111	株式会社 齋武商店 鉄スクラップ古紙リサイクル	電話 0225(95)5231	株式会社 石巻日日新聞社 愛する地域を未来の笑顔につなげます	電話 0225(22)6258	株式会社 小松塗料店 震災後南中里に移転しています	電話 0225(96)3658	サルクヤ 「とぎぎ町通り」	電話 03(6809)2823	イルマッジョ (土・日・祭日休)	東京都港区新橋4-18-4 1F
-----------------	------------------------------	-----------------	-------------	-----------------	----------------------------	-----------------	-----------------------------------	-----------------	------------------------------	-----------------	------------------	-----------------	---------------------	------------------

「第12回 東京・石中会の集い」を終えて ～平成27年7月11日（土） in 水月ホテル鷗外荘（富士の間）～



今回の「東京石中の集い」は来賓を含め77名の同窓生が集まりました。

石巻中学校同窓会からは浅野 亨会長、石巻中学校からは渡部洋校長がご出席されました。

懇親会では井上俊次さん（33回生）のファゴット、オペラ歌手の渡邊公威さん（42回生）・黒木直子さん夫妻と、三浦南さん（57回生）フルートの奇跡のジョイントが実現しました。すばらしい演奏と迫力ある歌声に出席者全員が魅了されておりました。

今年も昨年と同じ鷗外荘で7月9日（土）に「東京石中会の集い」が開催されます。

皆様奮ってご参加ください。

浅野 剛 (36回生)



東京石中会 飯田会長



石巻中学校群鷗会 浅野会長



石巻中学校 渡部校長



井上さんのファゴット、
渡邊さんの歌声素晴らしい！



三浦さんのフルート！
皆聞き惚れています



話が尽きません

ア・ラ・カ・ル・ト (1)

首都圏で石巻出身者が経営しているお店紹介

天ぷら 杜月 (上野)

テレビでも紹介されたお店

宮城県石巻市で昭和5年、天ぷら屋を開業した初代・岡崎三之助。山形から石巻に移り、そば屋、飲食店、町のお惣菜屋等に天ぷらの卸をしたのが最初。

二代目・岡崎勇三郎が金沢・仙台で修行を積み「杜月寿司」と業種を寿司と天ぷらに変更。その味を三代目・岡崎登が東京上野で天ぷら杜月として復活。

杜月のこだわり

全ての基本となる出汁(だし)利尻昆布と鰹節、宗田節、むろあじ節、鯖節を混合した削り節で独自の配合により出来ています。

砂糖を使わない天つゆ、井タレ、は全てこの出汁で作られています。

<http://www.togetsu.jp>

〒110-0015

東京都台東区東上野 3-38-5

荻谷第2ビル 2F

天ぷら 杜月

岡崎 登

定休日：日曜・祝日・第2・第4土曜日【全席禁煙】



天丼！絶品です！



是非遊びに来てくださいね

イル・マツジョ (新橋)

雑踏の酒場に石巻の風

2011年3月11日、東日本大震災のあの日。私は叔母の葬儀に参列するために東京から石巻へ発とうとしていた。あれだけ親しかった叔母の最後の時なのに、どうしても引き留められるような気持ちにさいなまれて、私は東京の自宅マンションにとどまったことを覚えている。

テレビの画面が津波にのみ込まれる石巻の街並みを映し出す。時々刻々と増えていく死者・行方不明者。生まれ育った漢も水没し、震災から程なくして姉は両親と共に仙台市へ越していった。戻る石巻の家は消えて、知人も親戚も亡くなった。

私の命は、あの虫の知らせで救われたのかもしれない。私は今を生きている。惨事を振り返って嘆くより、前を向いて自分の思いのままに人生を歩いていこう。

× × ×

そんな思いが募り、私は震災からまもなく1年になろうとしていた2012年2月、東京・新橋の一角に「イル・マツジョ」の看板を掲げました。私が生を受けた月にちなんで、イタリア語で5月を意味する言葉です。

多くの人に支えられて、開店から4年を迎えることができました。

ワインやウィスキーのほか、日本酒や焼酎…。そして、酒の肴には石巻の海の幸も。店には石巻弁が飛び交い、復興の催しも開いています。東京に来たら、新橋の雑踏で赤い扉を開けてください。そこには故郷の風が吹いています。

東京都港区新橋 4-18-4-1F

TEL03-6809-2823

(土・日・祭日休)

和田 公美子



お店の外観



復興に携わる超党派の国会議員が訪れる夜も＝民進党の渡辺周代議員(左)、自民党の小野寺五典代議員(右)

ア・ラ・カ・ル・ト (2)

首都圏で活躍する石中 OB・OG 紹介

フルート奏者 三浦 南さん 姉 (57 回生)

私がフルートに出会ったのは石巻中学校の吹奏楽部でした。上品で、美しいメロディーを奏でるフルートをみて、これをやりたい！と、他の部活に目もくれることなく入部しました。

しかし、フルートは人気で、入部当初はホルンの担当でした。フルートへの熱意を忘れていたら、今私は、ホルン奏者だったかもしれません。

高校から専門的にフルートを習い始め、洗足学園音楽大学、同大学院を首席卒業しました。卒業時には、第 39 回フルートデビューリサイタル、大学院グランプリ特別演奏会にも出演し、プロデビューを果たしました。現在は、ドラマや映画などのサウンドトラックのレコーディング演奏をメインに活動をしています。

レコーディングした音楽は生の演奏と違って、世界中のどこでも、誰にでも音を届けることができます。遠く離れた石巻にも私の音楽が届き、誰かの心に響いて欲しい、という想いをもってこれからも演奏活動を続けていきたいと思っています。

ドラマ「わたしを離さないで」「僕のいた時間」「ママとパパが生きる理由。」「ボーダーライン」、アニメ「東京喰種」映画「マダム・マーマレードの異常な謎」、Superfly「Beautiful」で演奏しています。機会がございましたらぜひ聴いてみてください。



コンサートにて



レッスンに熱中！

オペラ歌手 (ソプラノ) 三浦 梓さん 妹 (59 回生)

私は、現在、国立音楽大学大学院 音楽研究科、オペラコースに在籍しており、オペラ歌手になるため、クラシックのオペラや、歌曲などを専門に勉強しています。

私が、歌を始めるきっかけとなったのは、2001 年に行われたベートーヴェンの第九に市民合唱で参加したことでした。当時小学生だった私にとっては、「音楽室に飾ってある、怖い顔の人が作った曲」という認識しかありませんでした。しかし、ドイツ語で歌うことには、呪文を唱えるような楽しみがあり、本番になるにつれて、オーケストラと一緒に練習することや、ステージに立つことが、とても嬉しかったことを覚えています。(その時のテノールのソリストが、同じ石巻中学校の先輩の渡邊公威さんで、10 年後に東京石中会で、共演を果たしました。)

そういった歌を歌う楽しさから、音楽が好きになり、中学校では吹奏楽部、高校では合唱部に入り、大学進学にあたり声楽の道に進むことを決意しました。

現在は、大学院でイタリア語を専門にオペラを学びながら、自主的にコンサートやオペラ公演を企画しています。自分が感じてきた音楽の楽しさや、その作品の素晴らしさ、感動を、たくさんの方々に届けられるような歌手を目指して、日々精進していきたいと思っています。



東京で歌ったコンサートにて



大学院での先生と仲間たち
一番左が梓さんです

ア・ラ・カ・ル・ト (3)

役者・声優 小松 準弥さん (62 回生)

みなさん、こんにちは。

私は平成 20 年度に石巻中学校を卒業した小松準弥と申します。

私は現在、役者として活動しております。小さい頃から密かにテレビに出たいという思いはありましたが、本格的に「役者になりたい」と思い始めた時期は中学生の頃でした。なぜ私がこの仕事をやりたいかという小さい頃からの憧れであり、それを通して多くの人の前に立って何かを表現したい、そしてこれまで支えてくれた方へテレビを通して恩返ししていきたいという思いからこの道に進んでいます。

芸能活動を始めたのは大学 2 年生の夏です。2013 年に FINEBOYS 専属モデルオーディションでグランプリを受賞し、モデルとして活動を始め、舞台、CM、MV など幅広く活動しています。また、これからは役者だけではなく、幅広い視野を持ち、様々なジャンルに取り組んでいきたいと考えています。

これまでの人生で、夢は必ず叶うと信じ貪欲に努力することで結果もついてくるということを学びました。そのことを信じ、これからも夢に向かって突き進んでいきたいと思っております！



イケメン！



笑顔もかっこいい

(準弥さんの紹介)

準弥さんの実家は元「つつじ園」です。現在は石巻のグランドホテルそばに「飲み食い処 鳴海」を出店しています。

帰省の折には是非お立ち寄りください。

東日本大震災5周年 チャリティーイベント あの日をつなぐ

東日本大震災5周年チャリティーイベント
「あの日をつなぐ」開催！！

東日本大震災から5年が経ちました。去る3月6日、石巻支援三七会の主催によりチャリティーイベント「あの日をつなぐ」が文京シビックセンターで開催されました。

ふるさとに思いを寄せる1500名もの方々で会場は一杯になりました。イベントは初めに大震災で亡くなられた方々への黙祷で始まり、以下の3テーマが行われました。

●3Dドキュメンタリー映画「大津波」THE 3.11 未来への記憶 TSUNAMI

●ミニライブ・「鈴木あい (シンガーソングライター)」

●講演会「これまで、そして、これからの日本」池上彰氏

* 佐佐木文野 (ひさ あやの) 写真展「東北の学校」が併設

ドキュメンタリー映画は世界唯一の震災3D映像で「自然と人間」「破壊と再生」「過去と未来」「家族」などをテーマに3年に渡って記録したものでした。あの日の事が鮮明に蘇り、これからの生き方を問いかける貴重な映画でした。ミニライブは震災以来被災地でのチャリティーコンサート活動をしている鈴木あいさんの透き通った声が印象的でした。また池上氏の講演会では大震災を教訓に「これからの日本をどのように作っていくか」という趣旨で講演され皆さんは真剣に聴き入っておられました。

またロビーでは募金、物産即売会、等のコーナーも設置され多くの交流の環ができておりました。



池上彰氏の講演の様子



皆さん真剣に聞いてました

(加藤友成・18回生)

ア・ラ・カ・ル・ト (4)

「天皇、皇后両陛下、再度石巻ご来石、女川は初めて」

天皇、皇后両陛下は3月17日、震災から5年を経た被災地の視察と住民見舞いのため、昨年に引き続いて石巻市、そして震災後初めて女川町を訪問されました。

まず午前中、石巻の宮城県水産会館（市内開成）を訪問。同会館は当初、両陛下の休憩所の予定でしたが、震災の犠牲となった県漁協組合員392人の慰霊碑があることを知った両陛下の意向で急遽拝礼されることとなりました。

また午後には、震災発生後から気にかけておられた女川町を訪れ、新しく完成した駅前商業エリアの交流館、「シーパルピア女川」商店街などを視察し、集まった町民に励ましの言葉を贈られました。須田女川町長は、町民にとって何よりの励みですとたいそう感謝していました。



(石巻日日新聞提供)

「門脇小と大川小、震災遺構として保存決定」

亀山石巻市長は3月の記者会見で、東日本大震災で被災した門脇小学校と大川小学校の校舎を保存する旨表明した。「震災伝承や防災教育に重要」との判断で、門脇小は一部、大川小は全部を残すこととし、今後地域住民との話し合いにより、範囲、利活用等保存の在り方を検討していくことにした。



(石巻日日新聞提供)

門脇小は、津波火災の痕跡を残し、児童ら約300人全員が日和山に逃げて助かった経験が震災伝承に意義ありと判断、また大川小は、慰霊と追悼の場として周辺を公園化、環境整備し、児童ら84人が犠牲になった教訓を後世に語り継ぎ、防災・減災につなげる教育の場とする考えとしている。

「石巻南浜津波復興祈念公園、2020年に完成」

3月9日、国と宮城県、石巻市による南浜地区復興祈念公園有識者委員会は、石巻南浜地区の公園の名称を「石巻南浜津波復興祈念公園」に決定し、おおよその施設配置を示す基本設計を公開した。

これによると、全体面積は約39ヘクタール、公園の中心部に追悼祈念施設となる広場、避難築山等を設け、これらを囲む池・湿地で市街化前の風景を再生すると共に、南側の門脇流留線道路沿いにはかつてあった松原を復元する。

整備工事は今年度中にスタート、完成は震災発生から10年となる平成32年度（2020年）の完成を目指している。



(石巻日日新聞提供)

構成・文 岩崎久仁夫（18回生）

ア・ラ・カ・ル・ト (5)

「石巻フェア・オープニングセレモニーが東京ステーションホテルで開催！！」



本年2月1日から東京ステーションホテルとホテルニューグランド（横浜）に於いて、それぞれのホテル内のレストランなどで石巻の食材（ササニシキ、イチゴ、キチジ、渡波赤貝、銀ザケ、ホヤ等）を使用したメニューを提供する石巻フェアが3月31日まで開催されました。

開催初日の2月1日には、東京ステーションホテルにおいて「東日本大震災から5年 復興支援への感謝を込めて」と題する「石巻フェア オープニングセレモニー」が石巻市主催で開催されました。復興支援に尽力して来た関係省庁、自治体、企業等の関係者、石巻の観光大使である落語家の林家たい平師匠、漫画家の里中満智子氏等の著名人も含め約100名が招かれました。亀山市長、市議会議長、商工会議所会頭等が震災から今までの御支援への感謝を伝えると共に、これからも石巻の食材の使用をして頂いたり、石巻へ足を運んで貰う機会が増えて、一層の支援に繋がることを期待してのフェアでした。

震災からもう5年或いはまだ5年と見方は色々ありますが、復興未だならず、ということだけは真実であり、これからも弛まない支援が求められております。

相澤貞止（18回生）

東京石中会 役員改選

平成27年度「東京石中会 役員改選」のお知らせ

日頃は東京石中会にご支援・ご協力いただきまして感謝とともに心より御礼申し上げます。表題の件、平成27年度「東京石中会 新役員」が次のように決まりましたのでご報告申し上げます。

新役員は、加藤友成新会長（18回生）を初めとしてかなり若手の布陣となりました。今後の企画運営に当って、会員の皆様方のご期待に応えられる陣容と確信しております。本来なら、役員改選は総会においての議決事項ですが、異例ながら役員会一任の総会承認を得て、11月7日の役員会で審議して今回の運びとなりました。つきましては、新役員の発効は平成27年11月8日からとなります。ご了承のほどお願い申し上げます。

平成28年度（4月～）に向けた実質的な活動は2016年1月より開始いたします。今後ともよろしくお願い申し上げます。

2015年12月4日
前会長 飯田勝紀（9回生）

「東京石中会そして石巻の皆様とともに」



この度飯田会長からバトンを受けました加藤（18回生）と申します。

若輩者でございますがよろしくお願い申し上げます。

「東京石中会」は設立以来12年が経過いたしました。

その間、多くの先輩諸氏のご苦勞があり会員の皆様のご理解とご協力をいただき発展してまいりました。ここに会員の皆様に改めまして感謝とともに心より御礼申し上げます。

東日本大震災から5年が経ち、石巻は「復興そして未来創造」に向けて日々変化を続けております。大きく前進している一方ではまだまだ困難な状況の方々も数多くおられます。

東京石中会は①石中卒業生の相互親睦を図り、②母校石巻中学校への貢献を図り、そして③石巻の「復興と未来創造」に心を寄せながら一步一步歩んでいきたいと考えております。

役員一同、東京石中会のさらなる発展に向けて尽力してまいります。会員の皆様には引き続きご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

2016年5月吉日
新会長 加藤友成（18回生）

平成27年度 東京石中会役員

役員名	氏名	回生
会長	加藤友成	18
副会長	菊池 正	9
副会長	相沢貞止（兼）	18
事務局長	相沢貞止	18
同副局長	小野寺康之	31
〃	岩崎久仁夫	18
会計部長	綱島祐子	31
同副部長	渡辺 淳	26
広報部長	浅野 剛	36
同副部長	島貴裕之	31
同特任顧問	首藤光春	8
会計監査	徳江 明	5
〃	飯田勝紀	9
顧問	鈴木健司	8
〃	上原藤三	5
〃	早川幸子	5
〃	鈴木恵美子	5
〃	阿部 剛	3
〃	青沼義信	3

（平成27年11月8日発効）

年会費の納入、ありがとうございました。

●平成27年度・東京石中会・年会費払込者名簿

[3 回生] 阿部 剛・大木郁子・加藤英子・小林敬子・武山 勝・青沼 義信・森山 滋之・後藤 久男・水澤 昇・結城 常明・坂本 武久 [4 回生] 大西 葉子・阿部 剛夫・大熊 正子・金野 和夫 [5 回生] 佐藤 仁子・松本 悦子・上原 藤三・渡邊 寛治・阿部 道子・千坂健・久道勝信・小松 悦子・越後 京子・徳江 明・鈴木 恵美子・早川 幸子・猪俣昌子 [6 回生] 鈴木季子・藤澤俊・中村 繁子・細川 金子・長崎 紀久子 [7 回生] 伊藤 恵子・金澤 功・田上 富美子・角田禎啓・高橋玲子 [8 回生] 首藤光春・鈴木 健司・山手 てい子・御牧 道子・樽見 和子・畠山 尚・川島あつ子・菅野 邦子・佐藤 恭子・松田 勝治・橋本照嵩・今野 ひさ子・金森 喜美子・市川 洋子・高橋 静子・塩谷 洋子・澤田 知子・古胡 満子 [9 回生] 飯田 勝紀・野崎 ナホ子・森 孝二・後藤 安男・早田 光・菊池正・青山 さわ・田中 龍子・梓田 洋子・高橋 洋治・伊藤 幸子・加藤 照子 [10 回生] 角田守弘・今井 和代・緒方 正子・大高 朋子・田代 勝彦・矢澤節子・勝又 勝・川野 澄子・斎藤 宣子・高泉 正勝・三浦照雄 [11 回生] 池永 貴美子・渡邊 みよ・間部 和子・高橋 和子・零石 登志子・後藤 永子・栗原 光男・高井篤三 [12 回生] 西條 修・金澤 由紀子・金澤 洋・蟹澤 詔子・佐藤 正克・今井 あい子・村上 秀一・安田 淳子・吉田 義男・南里 憲三・諏佐 良子・門間 糸子・夏目 都善子・岡崎 国男・岡崎 好子・奥田捷治・西条 純一 [13 回生] 佐々木 次臣・佐々木 文江・藤林綾美・岡田 ちづ子・赤塚 誠哉・植草 良子・志白 清子・八重樫 典雄・小堀敦子 [14 回生] 山中 圭子・本田生子・梅沢 智・鈴木 照子・細川忠勝 [15 回生] 星 憲夫・山形 昌子・今野 和子・畠山 清光・佐々木玲子・金子和子・阿部博子 [16 回生] 葉 良枝・坂口 いく子・青山 憲介・金澤 哲・菌田 美智子・熊谷 徹・佐藤 政彦・佐々木光子・森岡 芳朗・岡 康博・渡辺 啓子・鈴木慎子・吉田 義弘・大久保 和夫・星澤正孝・伊澤洋子 [17 回生] 佐藤 秋男・熊谷 道夫 [18 回生] 小野 恵久子・田村 隆・本橋 富久子・鈴木 清勝・小笠原 けい子・西田 美知子・山崎 容子・加藤友成・吉田 るり子・相澤 貞止・高橋 誠・志村 明子・出雲 雅明・笈原 健・中西 園子・加藤 京子・井桁 美紀子・岩崎久仁夫・水澤純一・中崎園枝・寒風澤啓子・伏木由美子・河口登喜子・山口広治 [19 回生] 杉山 茂・星 武雄 [20 回生] 茂泉 吉則・佐々木 千代子・唐澤 泰子・新田輝夫 [21 回生] 高橋 郁夫 [22 回生] 穴原 直子 [23 回生] 岡田 文彦 [24 回生] 原田康弘 [25 回生] 師岡 千英子・西崎恵子・尾口 英昭・相沢茂・住 いつ子・土井 敏彦・佐々木 耕志・星野祐一 [26 回生] 高橋 裕子・渡辺 淳・高橋 周泰・鈴木 雅芳・斎藤 恵子・大久保多賀子 [29 回生] 阿部 泰 [31 回生] 島貴裕之・酒井義孝・小野寺康之・網島祐子 [32 回生] 村上俊 [33 回生] 井上 俊次 [34 回生] 星野 知倫 [36 回生] 浅野 剛 [40 回生] 成家 新一 (以上順不同・敬称略)

●寄付者

[3 回生] 阿部 剛・大木 郁子・水澤昂 [5 回生] 鈴木 恵美子・早川 幸子・上原 藤三 [6 回生] 細川 金子 [8 回生] 首藤 光春・鈴木 健司・川島あつ子 [15 回生] 金子和子 [18 回生] 相澤 貞止・山口修一 [31 回生] 木村 美保子・中荒井昇
石巻中学校校長 渡部洋・浅野亨・東京住中会・石商関東支部

お振り込みに際してお願い

窓口を通してお振り込みされますと、手数料が130円徴収されます。振り込み用の機械(ATM)で振り込まれますと、手数料は80円となります。できるだけ、振り込み用の機械(ATM)でお振り込みされますよう、お願いいたします。
(平成27年度会計報告は今年7月総会にて行います。)

東京・石中会への寄付

東京・石中会も今年で13周年となりました。会の運営は、基本的には同窓生皆様からの貴重な年会費を財源としておりますが、事務費用その他の活動で、財政的にはまだまだ脆弱な面を有しています。東京・石中会では、引き続き皆様からの貴重なご寄付を受け賜っております。ご芳志は、下記事務局長宛にお送りくださいますようお願いいたします。 相澤 貞止

〒154-0024 世田谷区三軒茶屋2-56-7-906

事務局だより

皆様には東京石中会の活動へのご理解とご支援、誠にありがとうございます。当会も本年からは加藤友成(18回生・前事務局長)新会長の下に陣容を整え新たに船出致しました。

大震災から早くも5年経過し、何となくしに支援疲れのような話しも漏れ聞こえますが、「まだ5年」というのが復興の現場の実感であると思います。故郷を遠く離れているだけでなく、日々の生活のしがらみに追われることから具体的な支援もままならず、遅々とした復興の進み具合には只歯がゆい思いをするだけです。皆様の支援の継続がやがては大きく結実する時が来ると確信しております。

今回の「友よ」からは、「首都圏・石巻ゆかりのお店シリーズ」と題して食材や経営者等の観点から石巻圏に関係する東京の店を紹介するコーナーを新設致しました。是非足を伸ばし、故郷を感じ取って頂けたら幸甚です。

4月23日には昨年に引き続き石巻において「石巻中学校同窓生の集い」が大々的に開催されましたが、今回の東京での総会にも石巻から有志の方々が出席され、昨年にも増して東京石中会と石巻の同窓会との連携が深められることになりました。

当会も新陣容の下で一層皆様のためにお役に立てるように努力致しますので、今までも増してご支援、ご鞭撻を御願致します。

事務局長 相澤 貞止

編集・広報 委員長 浅野 剛
委員 首藤 光春

第13回

東京・石中会の集い

7月9日(土)

開場 11:30

開宴 12:00

水月ホテル 鷗外荘

東京都台東区池之端3丁目3-21

お申し込みは、はがき又は下記URLから承っております。

<http://tokyosekichukai.com/tsudo-annai/>

広報誌「友よ」発行部数：1700部、主な配布先(予定)：東京石中会会員、石巻中学校、石巻市、石巻市図書館、等